

ミツモチ山山行報告

【山行日】2018年 5月 16(水) 晴れ
【集 合】栃木市運動公園 AM 8:30
【費 用】マイカー1台 : 1,800円
【メンバー】CL:大西、石田、島田、鈴木、
関、福島、福田ケ、福田夕、松葉、田村ヤ(体験)
【コースタイム】栃木市運動公園P8:30＝県民
の森キャンプ場 P9:40/9:50～第一展望台
10:20～第二展望台 10:50～ミツモチ山
12:00/12:40～キャンプ場P14:10/14:30＝道の
駅「やいた」15:00＝栃木市運動公園P15:40



宿泊山行が連続し、泊りでは参加できない方のため県民の森からミツモチ山山行を計画した。今回は田村さんが体験山行で参加され、平日にもかかわらず10名参加で県民の森に向かった。



県民の森キャンプ場駐車場に車を止め、トイレを済ませストレッチをしてから自己紹介を行う。

今回はシルバー隊の山行であるが、その中でも歩きが遅いウルトラシルバー隊4名は、第一展望台まで車で行きそこから先行する。我々はキャンプ場を出発し、丸太の階段を登って第一展望台をめざす。杉や檜の植林帯を緩やかに登り、標高870mの第一展望台に着く。駐車場には先行した4名の車があり、すでに出

発して第二展望台に向かったようだ。木製の展望台からは南側の展望が得られ、小休止して衣服調整と水分を補給する。ここからは明るい自然林の歩きになり、ヤマツツジの花が目立つが少し盛りを過ぎたようだ。それでもまだ咲いたばかりのヤマツツジは、鮮やかなオレンジ色の花で出迎え

てくれる。道標に従って階段を登り、第二展望台手前で先行隊から TEL が入り「第二展望台で合流の予定だが、ベンチが無いので先に進む」との事。我々も第二展望台に着いたが、展望檜は壊れていて立ち入り禁止となっており、休まずに先行隊を追いかける。ここからは広い林道歩きとなり、傾斜もゆるく足取りも軽快になり間もなく先行隊に追いついた。山道に入る道標だ有る場所で休憩し、熱いコーヒーと菓子を食べ一息いれる。体験山行の T 村さんもすっかり皆さんと馴染み、女性同士の会話が賑やかになって来た。ここからは蛇行する林道を横切りながら山道を登る



が、ヤマツツジやシロヤシオの花に癒されながら快調に高度を上げて行く。

やがて視界が開け、ミツモチ山の山頂が見えてくる。間もなく広い林道に出て、左に進むと山頂下



のベンチとテーブルがある広場に着く。すでに何組かの登山者が昼食を食べており、我々も日陰のテーブル・ベンチを確保してザックをデポし山頂に向かう。ここからはほんのひと登りでミツモチ山頂に着き、大きな木製の展望台に上がって眺望を楽しむ。ここからの展望は素晴らしく、関東平野を見下ろし八溝山地まで見渡せる。展望台の周りはヤマツツジやミツバツツジ、シロヤシオが咲き乱れとても素晴らしかった。展望を楽しんだらベンチに戻り、ランチタイムにする。今日の山ご飯はキノコ汁とダ

シ巻き卵、味噌おでんやミンピー等々御馳走がこれでもかと並び超豪華。すべて食べ終わった後に、サンドイッチとレーズンパンまで出てお腹いっぱい。腹ごなしに南に70m下り、見晴ピークまでお散歩する。見晴ピーク付近もヤマツツジやミツバツツジ、シロヤシオが満開でとても綺麗だった。

帰路は往路を戻り、途中から道標に従いキャンプ場方面に下る。ウルトラシルバー隊はそのまま往路を下り、第一キャンプ場まで戻る。キャンプ場への下りはブ、ナとミズナラの林の中をジグザグに下って行く。やがて植林帯の中を下るようになり、沢を渡ると真っ直ぐに下るが道が荒れていた。林道に出たら左折し、直ぐに右に林の中を下ると舗装道に出て、左に進むとキャンプ場駐車場に着く。トイレを済



ませ靴を履き替えていると、ウルトラシルバー隊が車で到着した。全員揃ったら車を乗り換え帰路につく。途中、道の駅「やいた」に寄り、ご褒美のソフトクリームやお土産をゲットし栃木市運動公園に向かう。皆さんツツジの花を楽しみながら、丁度よい歩きとランチの御馳走を満喫し大満足の山行になった。

